

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	八ヶ岳中信高原国定公園
2 施設名	美ヶ原登山線歩道、広小場線歩道
3 公園事業名	美ヶ原登山線歩道整備、広小場線歩道整備
4 整備箇所	長野県松本市入山辺
5 整備年度	平成20～21年度
6 新規整備・再整備	新規整備
7 事業主体	松本市 商工観光部 観光温泉課
8 事業費	21,472,500円
9 交付金	9,659,000円
10 施設概要	歩道整備 延長18.9km(案内看板4基、道標40基、土留工2基)
11 事例の解説(特徴等)	

長野県松本市美ヶ原高原は年間65万人が訪れ、特に初夏から秋の紅葉までのシーズン中は多くの来訪者で賑わう地域である。また、本事業箇所の一部は市内小学生が学校行事として美ヶ原高原への登山を行う際のルートとなっており、地域住民からも親しまれている。

一方で、既存道標の老朽化が著しく歩道に崩落箇所等もあるため、利用者の安全性、利便性の向上を目的として、案内看板及び道標の設置、崩落地への土留工の施工を実施した。

また、歩道整備にあたっては、周辺の自然環境へ配慮したデザインとしたほか、県産材など自然素材の活用を積極的に行った。

歩道整備の結果、安全で快適にアルプスなどの眺望を楽しむ事ができ、利用者や地元住民からは好評を得る事ができ、利用促進を図ることが出来た。

12 施設写真



美ヶ原登山線歩道



利用状況



道標整備後



美ヶ原高原



案内看板整備後